

起因物、事故の型：その他の材料 - 飛来・落下の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	16～17	木造2階建、解体現場にて、2階ベランダ横のエアコン室外機取り外し作業を行う。取り外しが終了し、室外機台座をベランダに置いたところ、ベランダ床が腐食しており、ベランダ床が抜け、台座（約3kg）が屋根を転がり落下し頭上に落下し、台座が鼻にあたり、鼻骨骨折で全治2週間と診断された。	43	30202	—
1	14～15	縦1m、横1.8mの長方形の部材を搬入中、2階の足場の上で部材を受け取った作業員が手を滑らし、下で作業をしていた従業員の左手に部材が当たり受傷した。	22	170209	50～99
1	21～22	キッチン内の冷蔵庫へビール瓶を補充している際、左手で持っていたビール瓶が滑り落ちてしまい、コールドテーブルに当たり割れた際、その衝撃で瓶の破片が飛び散り、左手首を切ってしまい、出血した。	23	140201	—
1	16～17	駐車場で片付けをしていて、ブロックが落下し、足の甲にあたる。	46	30309	1～9
1	16～17	社内工場内で社員が重機（バックホウ）を運転していた際、重機でゴミを挟んだ拍子にゴミの破片が勢いよく飛んでしまい、同じ工場内で作業をしていた被災者（下を向いて作業をしていたため飛んできたゴミ（10cm×10cm程の大きさの塩ビパイプ）を避ける事ができなかった）に当たってしまい負傷した。	46	150102	10～29
1	18～19	勤務先のゴミ収集場に於いて作業中、廃棄用便器が倒れかかり、左手をついて手を痛めた。	75	170201	30～49
		牡蠣水揚げ作業中、ワイヤー切断用の鉄バサミを握って作業をしている			30～

1	7~8	上に、牡蠣のかたまりが落ちてきて、鉄バサミの板が手のひらにくい込み、腫れ上がった。	28	70209	49
1	11~12	部品に穴をあける作業中、エアブローで削った鉄粉を吹き飛ばした際、鉄の切粉が左目に入った。	75	11301	100~299
2	11~12	コンテナ車内での作業中、ピート原料ケース（20kg~25kg）を自分の背丈ほどの場所から下ろす作業を行っている際、ピート原料ケースが頭上より落下し首に当たり負傷した。	66	11709	30~49
2	9~10	店舗内にて、間仕切壁を解体中に、ケイカル板とタイルを剥がそうとバールでこじたところ、塊となって左足に落ちてきた。	62	30201	—
2	16~17	溶融炉のクリンカを解体するため、炉内で作業準備、養生の設置を行っていたところ、突然上からクリンカ（炉内付着物、約10kg）が落下して被災者の足、腰に直撃した。	62	150101	—
2	15~16	コンクリート舗装版を取り壊し、人力にて積み込みをしている時ダンプトラック（2t車）に積み込んでいたコンクリートが右手の甲に落ちてきた。	51	30106	10~29
2	15~16	事業場内の調理場の洗い場で、野菜を切ろうとした時、作業台の上にあるまな板が不安定な置き方であったため、まな板が右足の親指の付け根に落下し負傷（骨折）した。（まな板の大きさは、横約1m、縦約40cm、厚さ約3cm、重さ約10kgのものである。）	36	140201	10~29
2	16~17	フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトにフレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。フォークリフト積載荷重3t。	33	170101	10~29
		フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトにフレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛			10~

2	16~17	散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。フォークリフト積載荷重3t。	33	40301	29
3	5~6	現場から帰ってきて倉庫で道具を降ろすとき、手が滑ってホースブリッジを右足親指に落とし負傷した。	47	150101	50~ 99
3	11~12	重機でダンプの上にある大ガラをブレイカーで割っている作業中に、割ったガラの一部がダンプ右後方（重機の左前当たり）で作業をしていた被災者の右手に当たった。	35	30209	10~ 29
3	13~14	ゴミ（段ボール）ヤード内で、段ボールの回収作業中、ラックに入っている段ボールを取っている時、勢い余って段ボールが右目にあたり負傷した。	51	150103	10~ 29
3	11~12	トラックにハウスを積んでハウスを荷締めする際、ハウスの上からラッシングベルトで荷締めしようとした時、あやまってラッシングベルトのフックがサッシのガラスに当たりガラスが割れてしまい、そのガラスを捨て場に運ぶ際、サッシごと持って5~6歩進んだ時、サッシ枠からガラスが落ち右大腿の内側に当たり15cm程切れてケガをしてしまった。	58	40301	50~ 99
3	15~16	食品工場の3階資材庫にて、重さ約18kgほどの樹脂製パレット（110×110×14cm）の搬出のため、滑り止めの軍手を使用し両手で最上段（5段）のパレットを引き出そうとした時に、パレットの奥側が床に着いた衝撃でパレットを支えていた両手からパレットが滑り落ち、右足に落下して右足親指を骨折した。	43	10104	50~ 99
3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63	150109	1~9
3	14~15	S2Cプラント2階パレット化設備にあるストランドカッターで、ストランドカッター手前に堆積していた樹脂ストランドを除去する作業に着手し、堆積していた樹脂ストランドを抜いた際に、樹脂ストランドの先端が目に入り、目を負傷した（角膜潰瘍、光彩に傷有り）。作業時は保護メガネを着用していたが、他作業で汗をかき、花粉症の為マスクを着用していたこともあり保護メガネが曇った為、保護メガネを外して作業を	32	10801	100 ~ 299

		継続し、目を負傷した。			
3	11~12	食品の仕分け作業中、調味料の入った缶を自分の足の上に落としてしまった。	35	40301	50~ 99
3	7~8	廃タイヤの荷卸場所で、トラックからタイヤを降ろす業をしていた。運送中にタイヤの一部が崩れており、崩れて不安定だったタイヤが落下し、ドライバーの頭に当たり負傷した。	51	40301	30~ 49
4	8~9	当社第5冷凍工場に於いて、冷凍魚の積載工程で空ポリパンの回収作業中、コンベアーから冷凍魚が落下左足に当たり、小指を負傷した。	27	10102	50~ 99
4	16~17	製品の置き場からユニック車の荷台に積み込みをしているとき、ユニックで製品（コンクリートブロック、約35kg）を持ち上げたまま荷台のブロックを整理し際に、挟搬機にしっかりブロックが固定されておらず外れてしまい、荷台を整理していた手の上にブロックが落下し負傷した。	54	40301	10~ 29
4	13~14	作業場にて従業員が沓石を作成する作業をしていた際、型枠にモルタルを充填していた時にモルタルが飛びはねてしまい、目に入り負傷した。	28	30202	1~9
4	9~10	解体工事現場で解体作業中、建物の窓ガラスを取りはずし置いていた物をトラックに搬入する時、割れたガラスが落ちて来て右手首に当たり裂傷した。	39	30202	1~9
4	15~16	本社敷地内倉庫にて作業中、コンクリートブロックを左手で保持していたが、放そうと意識する寸前に左手から離れ、右足を引いたが間に合わず右足指先に落下し、右足第一指にあたり負傷した。作業姿勢については、先輩より危険を指摘されていたが、事故当時は意識が薄れていた。	53	170209	1~9
4	11~12	注文商品（サイディング）を納品するため、納品先で1tトラックの荷台からそのサイディング（長さ3030mm、幅910mm、厚14mm、重さ約46kg）を2人でかかえて降ろしていたところ手が滑って左足に落下、左足親指を負傷した。	18	80209	30~ 49
		タイヤのゴム練り工程でシート状のゴムをロールで練り上げる作業を行っていた。練り作業中ゴムの塊がロールから受け皿に落下したので繫			1000

5	5~6	ぎ用のゴムを貼り付け上昇させようとしたとき、繋ぎ用のゴムが外れてゴムの塊が落下し（約300kg）、受け皿の外まで転がり落ちて、よけきれずに足に当たった。	35	10806	~ 9999
5	6~7	製造タンク17番において水溶性切削油を製造中、粉末添加剤を投入していたところ、製造タンク内の油が飛散し、両目に入った。	36	10804	30~ 49
5	10~11	フッ素樹脂製（円筒形、約30kg）の底に部品を取り付ける作業中、作業台の上でポンプを向こう側に90度回転させた際に、作業台の端に転んだ為、転げ落ちてきた。両腕で抱え込んだが重さに耐え切れず、しゃがんだ状態になり、太ももにポンプが当たり打撲した。	40	11709	100 ~ 299
5	14~15	現場内でシバを拾っている時に、上からガラスが落ちてきて左手薬指を切断してしまった。	30	150102	1~9
6	11~12	工場内で冷凍庫から食肉原材料を出して、カゴから1本ずつ作業台の上に載せる時に、その食肉材を右足の上に落としてしまい負傷した。	36	10101	30~ 49
6	13~14	道路改良工事現場で、KJ側溝を荷造りとして結束しているスチールバンドをバールで切った際に、KJ側溝が1枚、被災者の左足甲に倒れた。	39	30106	50~ 99
6	10~11	工場内において、ミキサー車のドラム内に付着しているコンクリートを研っていたところ、取れたコンクリート殻が落ちて転がり、左膝に当たってしまい打撲した。	54	10901	1~9
6	7~8	魚を出荷するための氷を砕氷機に入れるため、移動させていたところ、誤って倒れて来た氷に右足を挟み、同部を負傷した。	50	70201	1~9
7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対しての予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と思料。	50	150109	50~ 99
7	20~21	納品先にて、荷降ろしをする際、傾斜している所に駐車し、作業を行う。庫内から荷物を出したところ、パワーゲート車のパワーゲートの上	22	140209	30~ 49

		から、バランスを崩し荷物ごと転落。落下時に手をついて骨折となる。			
7	9~10	トラック荷台側面（現場入口付近）にて、平積みされた石膏ボードの横に立て掛けてあった石膏ボードを運ぼうとしたところ横立て掛の石膏ボード（14枚、約319kg）が崩れ落ちてきたため、避けられずに被災者の背中、腰にぶつかり受傷した。	31	30202	1~9
7	7~8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	10109	100 ~ 299
7	15~16	洗浄機を使用して洗浄業務を行っている途中に、レバーのひっかけが甘く落ちてきて指を挟んで負傷。	71	140209	10~ 29
7	9~10	構内において、階下の作業現場で使用するPPロープ（長さ約2m）の束を持って階段を慌てて下りていたところ、PPロープが足に絡まって転倒しそうなったため、地面まで飛び降りてしまい（階段7段分、高さ1.7m）右足を負傷した。	48	50209	30~ 49
7	15~16	当本社敷地内の材料置場（倉庫）内でコンクリートガラの片付け作業中、誤って手を滑らせてしまいコンクリートの破片が右足首の薬指の付け根の上に落下した。	70	30199	10~ 29
7	9~10	重機で選別作業を行っていた作業員が回転時に重機のツメ部分をコンクリートブロック6段（高さ3m）に接触させてしまい、上から2個のブロック（1つ：高さ50cm、1m四方）が落下した。近くで選別作業を行っていた被災者にそのブロックが当たり、怪我を負った。	40	150102	100 ~ 299
7	11~12	依頼主の引っ越しゴミ処分のため、屋内にて食器棚等を移動させていた際、食器棚のガラス戸（30cm×30cm・約5kgのガラス板）を2枚合わせて持ったところ、その1枚が足に落ちて刺さった。	43	150102	10~ 29
7	11~12	分別台の上で洗面台の鏡を外し、下にある産廃BOXに割って入れようとしたところ、割れた鏡の破片が左目にあたり、眼球を傷付けた。	51	150102	10~ 29

7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	30201	10~ 29
7	14~15	屠場内で、親豚の頭を捌く作業をしている時、作業台から豚の頭が右足に落下し負傷した。	51	10101	100 ~ 299
7	14~15	コンテナ交換作業時、コンテナを被っていた網の上にブロックがのせてあった。ブロックに気付かず、コンテナの足元に絡まっていたのを外そうと網を引っ張った際、ブロックが落下し、左人差し指に直撃し骨折した。	26	150102	30~ 49
7	14~ 15	通信線を新たに設置する工事の準備で通信線を引っ張るための金車を取り付け延線ロープを金車に通していた。ロープを車両で張り上げている途中で金車を固定していたバンドが破断し、同柱で作業をしていた被災者の顔面左側こめかみ付近に直撃した。破断したバンドはケーブルをまとめるものであり金車を固定するものでなかった。通常はスリングやワイヤーを使用すべきところを扱いやすいことから今回破断したバンドを使用してしまった。	48	30301	10~ 29
7	23~ 24	店内にて食材を冷凍庫へ移す作業をしていた際に、誤って冷凍状態の肉のパックの塊を落としてしまい、左足の小指に当たってしまった。	23	140201	30~ 49
7	15~ 16	プラスチックの塊が入ったフレコンバックを、フォークリフトで高さ約1m吊り、フレコンバック内にある塊を取り出すため、フレコンバック底部をカッターナイフで切断したとき、塊（6kg）が地面に落ち跳ねて、約5m離れていた作業員に当たり、右脛骨近位部開放骨折を負った。	64	50101	1~9
7	15~ 16	当施設内で、子供2名と、読む紙芝居を座って聞いていたとき、同じ施設内で別の遊びをしていた子供の投げた段ボール（16cm四方）が飛んできて眼に当たり、右眼を負傷した。	61	120109	1~9
7	9~	解体工事現場にて、安全靴を着用し解体作業中に、建物から外壁のコンクリート片が外れ、真下で作業していた被災者の左足の甲に落ち、左足	54	30209	1~9

	10	の小指以外の指4本を骨折した。			
7	10～ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷した。	42	10805	1～9
7	11～ 12	当社カットセンター内の作業場にて、枝肉を小割にする作業中、レールに吊るした枝肉を真下方向に引いて作業するべきところ、誤って斜めの方向に引いてしまい、枝肉がレールから外に落下し、右手を負傷した。	58	10101	50～ 99
7	20～ 21	担当エリアの店舗にて、店舗のマネージメントや業務フォローの仕事をしているとき、店舗駐車場で、備品什器のガラス板（60×30）の搬入作業をしていた。3枚のガラス板を同時に持ち上げたことでバランスを崩し、3枚中2枚が床に滑り落ち、左足の甲を負傷した。そのときにガラスが刺さり、左足薬指に繋がる腱を断裂した。	36	80209	30～ 49
7	11～ 12	現場において、屋根上で瓦の運搬中、誤って左足首に瓦を落下させて受傷したものである。	47	30309	1～9
7	8～9	工場内連続鋳造機Aラインにおいて、鋳造作業に着手した際、タンディッシュを通過した溶湯アルミが、鋳造内に流れた瞬間に飛散し、左目に入り火傷した。	59	11102	10～ 29
9	8～9	150cmぐらい積み重なっている一段目のコンクリートブロックを、両手でつかみ足元へ降ろす際に、上から二段目のコンクリートブロックも引きずり落下させて、手の甲側の右手小指のつけ根付近にコンクリートブロックが強打して骨折した。	38	40301	10～ 29
9	6～7	印刷工場内、印刷加工準備で印刷機械にロール状のフィルムをセットする作業中、通常はフィルムとコンベアに載せて印刷機械にセットするという作業手順だが、フィルムの巻き径が細かった為、コンベアに載せずに手で持ち上げ機械にセットしようとしたところ、手が滑りフィルムが落下。丁度その下に左足があり、安全靴を着用していたが、左足小指を	27	10701	50～ 99

		骨折した。			
9	16～ 17	1系焼却炉内において、焼却炉停止時の炉内清掃作業にて、ばいじんの堆積物除去作業をしているとき、煙道壁に堆積したばいじんの塊が落下し、作業員の背中に直撃した。肋骨、骨盤等の骨折、骨折により肺を損傷および倒れ込んだ際に火傷を負った。	34	150102	30～ 49
9	21～ 22	自店舗厨房内にて大きめのグラス（長さ25cm程）を洗浄中、手を滑らせグラスを落として割ってしまい、跳んできたグラスの破片で右手の小指を裂傷した。	20	140209	10～ 29
9	9～ 10	当社作業場（第二工場二階）において、ブチル練り作業をおこなっていた際、板パレットからブチル材料を次の作業者が取りやすいように移動させていたが、ブチル材料がくっついて取れなかったため、左手だけではなく、右手を添えて取ろうとしたところ、勢いよく材料が外れ、右手に接触した。後日受診したところ、接触箇所を骨折していた。	39	11502	30～ 49
9	14～ 15	射出成形機の整備中、シャフトのフタを開ける為に、カナヅチで同僚がたたき本人が押さえていた所、フタがいきなり開きレバーがはね返り、右人差し指に当たり負傷したものである。	40	10805	30～ 49
9	11～ 12	敷地の営繕作業中、ハシゴの角が屋根瓦に接触して瓦1枚が落下、落下した瓦に頭部が当たり負傷、頭頂部裂創と診断された。	74	140101	10～ 29
10	14～ 15	ゴミステーションにて、ごみ収集作業中、不燃ごみで出ていたプラ衣装ケースを塵芥車に積み込んだ際、プラ衣装ケースについていたキャスターが飛んできて左目にぶつかった。	55	150103	50～ 99
10	14～ 15	外溝工事中、4t車の荷台から縁石（民地石17kg）を降ろす作業をしている際、手にはめていた軍手が荷台に引っ掛かり、縁石を左足に落としてしまった。	51	30199	10～ 29
10	1～2	ロングレール取替作業に従事するために線路内に立ち入ったが、上り貨物列車が接近してきた為、上り線線路脇に退避し、車両が通過するのを待っていた時、何らかの物体が飛しょうして、右顔面に当たり負傷し	48	30104	10～ 29

		た。			
10	13～ 14	配送先にて荷物を降ろすため、トラックの観音扉を開けた際に内部に立てかけてあったコンパネが落下してきて、左足の甲に当たり負傷した。	40	40301	30～ 49
10	10～ 11	前工程を検査台にて検査終了後、隣の台場にケースを置く際に左手が滑り、ケースと台の枠にて右手を挟んで受傷した。（ケースを落としそうになったので右手を出した。）	43	170101	500 ～ 999
10	13～ 14	お客様が打った球がミスショットとなり、右前方付近でボールを確認するために立っていたキャディの左側頭部に当たった。	49	140301	100 ～ 299
10	9～ 10	当該事業所において、昼食の魚を並べるために、クッキングシートを敷いたホテルパンを10枚互い違いに重ねてシンクとシンクの間に置いていた。それが落ちてきて咄嗟に足が出てしまい、足のすねに落ちた。1枚でも割と重たいので落ちてきたはずみで左足を捻挫した。	24	80209	10～ 29
10	13～ 14	インコース7番ホールで、お客様が打った2打目のボールが木に当たり、はね返ったボールが、キャディの額に当たり負傷した。	47	140301	50～ 99
11	10～ 11	事務所で荷おろしの際に、手に持った荷物を誤って右足に落とし受傷した。基本動作の励行を更に徹底していく。	36	80209	1～9
11	14～ 15	塩ビパイプ売場で、塩ビパイプ2M（VU管）が重量に耐えられず、棚から落下した。落下したパイプを売場に陳列するため、社員、技能社員、積み込みアルバイトの3名で作業している際、VP100が本人の足元に落下し負傷した。その日に病院へ行き、骨挫傷と診断された。	54	80209	30～ 49
11	9～ 10	同店内倉庫にて、商品配達準備作業中、配送用トラックに商品（瓶ビールケース）を積み込んでいた時、誤って足を踏み外し荷台から地面に落下し、その際に手に持っていたビール瓶が割れ、右手首を切創し受傷したものである。	46	80109	10～ 29
11	17～ 18	作業所前に積んであった外壁材を移動させようと持った時に、小雨が降って濡れていたため手が滑って外壁材が落下して、右足の親指に当	27	30201	1～9

		たってしまった。			
11	18～ 19	資材置場にて、トラックの上でラック上の材料を整頓していたところ、材料が落下した。左足首がトラックの荷台と材料で挟まった。	16	30309	30～ 49
11	15～ 16	店内にて、一升瓶の酒を品出しをしている最中に手が滑り、右足に落とってしまった。仕事後に病院に行き右足親指の骨折との診断を受けた。	47	80209	10～ 29
11	16～ 17	倉庫にて、1.5?の鉄バケツ（幅1.8m、奥行0.9m、高さ0.9m）内の廃棄物を選別中、中から取り出そうとした人工大理石の洗面台（長さ1.0m、幅0.5m、重さ20kg程）の縁を持って持ち上げ、左手をバケツの縁に掛け踏ん張り、右手1本である程度まで引き出したものの手が滑り落下、洗面台とバケツの縁に挟まれる形で左手薬指第一関節を骨折、裂創する。	58	150102	10～ 29
11	11～ 12	8番ホールのティグラウンド（レギュラーティ）で前の組のプレーを待っていたら、7番ホールでプレーしていたお客様の左バンカーからのアイアンショットが曲がり、右肩甲骨辺りに直撃した。痛みがあったのですぐに病院へ行った。	25	140301	100 ～ 299
12	12～13	当社店舗裏の廃棄物置場に於いて、廃棄する発泡スチロールの容器（縦約30cm、横約45cm、高さ約20cm）を片付けていたところ、室外の冷凍機（縦約60cm、横約1.2m、高さ約1m）の上に3段積みとして積んでいた発泡スチロールが突風にあおられて崩れた際、発泡スチロールの上に重し用として載せていたタイルレンガ（約3kg）が、約1.6mの高さより右足に落下し、親指等を負傷したものである。	45	140201	10～ 29
12	20～21	店舗地下冷凍庫にて在庫確認中、冷凍庫の中の箱から出してあったチキンが不安定だった為、チキンが落下し、落下したチキンを取ろうとした際に、チキンに左手中指が挟まれ受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、よくならなかった為、後日病院へ行った。	19	140201	30～ 49
12	15～16	当社機材センター内にて、ミキサーの清掃作業中、セメントが飛び誤って両目に入った。	56	30199	1～9

12	9~10	ゴルフクラブ5番ホールにてキャディ業務中、7番ホール方向から飛んで来た球が、左足くるぶし付近に当たり負傷した。飛球元を捜したものの、特定には至らなかった。	38	140301	50~ 99
12	12~13	作業場の土場で、ラックに入れている瓦を上と下で片づけ中、上の瓦が荷崩れし、下で作業をしていたところに瓦が落下し、右手を負傷した。	28	30209	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html